

## 新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬白

2024年5月

【記】

### ◇新規受託開始検査項目

項目コード:5259

前立腺特異抗原(PSA)レクチン結合分画比(S2,3PSA%)

受託開始日:2024年6月1日(土)受付分より

前立腺特異抗原(PSA)は、糖タンパク質であり正常組織由来のものと癌由来のものでは、その糖鎖構造が異なります。

健常者や前立腺肥大症などの良性疾患の糖鎖構造は、N型糖鎖の末端シアル酸残基が $\alpha(2,6)$ 結合でガラクトースに結合したPSA(S2,6PSA)の割合が多く、前立腺癌の患者では糖鎖構造が変異し、 $\alpha(2,3)$ 結合でガラクトースに結合したPSA(S2,3PSA)の割合が増加いたします。そのため、S2,6PSAとS2,3PSAの総和に占めるS2,3PSAの割合(S2,3PSA%)は、前立腺癌と前立腺肥大症との識別において有用性が示されています。

S2,3PSA%測定は、前立腺癌診断において高い特異度を有し、不必要な針生検の低減が期待されます。

※ 検査要項の詳細は裏面をご参照下さい

## ◇検査要項

検査項目名	前立腺特異抗原（PSA）レクチン結合分画比（S2,3PSA%）
項目コード	5259
検体必要量	血清 0.5mL
保存方法	冷蔵
容器	㊟：分離剤入り容器
検査方法	LBA-EATA法
基準値	38.0未満
単位	%
報告範囲	20.0未満～80.1以上
報告桁数	小数第1位
所要日数	4～7日
検査実施料	248点
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ))
備考	<p>本検査は、前立腺癌であることが強く疑われる者であって、前立腺特異抗原（PSA）の結果が4.0ng/mL以上10.0ng/mL以下である者に対して、LBA法（定量）により、本検査を測定した場合に限り算定する。</p> <p>本検査は、前立腺癌の診断に当たって実施した場合に、原則として1回を限度として算定する。</p> <p>ただし、前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。</p> <p>本検査と、前立腺特異抗原（PSA）、遊離型PSA比（PSA F/T比）またはプロステートヘルスインデックス（phi）を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。</p> <p>診療報酬明細書の摘要欄に、前立腺特異抗原（PSA）の測定年月日及び測定結果を記載すること。また、本検査を2回以上算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその必要性を記載すること。</p>

## ◇S2,3PSA%の計算式

$$S2,3PSA\% = \frac{S2,3PSA\text{濃度 (ng/mL)}}{S2,6PSA\text{濃度 (ng/mL)} + S2,3PSA\text{濃度 (ng/mL)}} \times 100$$

※ S2,6PSA濃度 (ng/mL) 及びS2,3PSA濃度 (ng/mL) の報告は致しません。